

事業シート(令和3年度決算)

42.消防本部_1

事業名	81100 消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画				消防計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 消防総務課・救急課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	80.2%	84.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	169,369	165,109	131,071	128,853	128,233	△ 36,876	
特定財源							
国費()							
県費(県移譲事務交付金)	584	587	370	370	590	3	
その他(消防手数料、白川村受託事業収入)	16,090	23,794	10,900	10,900	14,342	△ 9,452	
一般財源	152,695	140,728	119,801	117,583	113,301	△ 27,427	
個票枝番	主な事業内容						
	消防本部の運営	128,049	122,087	120,151	117,933	119,191	△ 2,896
	AED(自動体外式除細動器)の維持管理	37,860	40,717	10,800	10,800	8,936	△ 31,781
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	330	158	120	120	106	△ 52
	言語、聴覚障がい者向け緊急通報システムの導入	3,130	2,147				△ 2,147

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	140,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
143,277	141,495	141,495	10,424
378	400	400	30
10,812	11,220	11,220	320
132,087	129,875	129,875	10,074
査定額	説明		
128,306			
13,079			
110			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 24件、救急出動 3,684件、救助出動 37件(令和2年1月～令和2年12月中) 消防署等施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応0件、訓練8回(外国人の来高者数減少) 防災ヘリコプターの飛駐地域常駐化に向けた県への継続要望を行った。 Net119(言語・聴覚障がい者向け)緊急通報システムの導入を行った。(登録者22名、通報実績なし) AEDを屋外に設置した。(移設31施設、新設60施設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 Net119緊急通報システム導入により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。 市内全域においてAEDを屋外に設置したことで、いつでも誰もがAEDを使用できる環境を整備することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。 AEDの屋外設置は令和2年度で完了した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 30件、救急出動 3,864件、救助出動 45件(令和3年1月～令和3年12月中) 消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 1件 Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者23名、通報実績1件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 Net119緊急通報システム導入により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上 AEDの維持管理に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

42.消防本部_2

事業名	81110 消防署運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画				消防計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		27,237	25,438	27,270	29,257	28,931	3,493
特定財源	国費(緊急消防援助隊活動費負担金)					726	726
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	2,027	2,057	1,929	1,929	1,764	△ 293
一般財源		25,210	23,381	25,341	27,328	26,441	3,060
個票枝番	主な事業内容						
	消防署の維持管理	27,237	25,438	27,270	29,257	28,931	3,493

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額	28,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
32,393	29,320	29,320	2,050
2,130	1,939	1,939	10
30,263	27,381	27,381	2,040
査定額	説明		
29,320			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(指令放送施設修繕(大野)、仮眠室空調設備修繕(高山)、漏水修繕(高山)、暖房機器取替修繕(荘川)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(ボイラー修繕(高山)、非常用発電機修繕(高山)、仮眠室空調設備修繕(高山)、ホースタワー修繕(荘川)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画				消防計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 予防課	内線	2118								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		(千円)	
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,035	818	1,035	816	815	△ 3
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	1,035	818	1,035	816	815	△ 3
	その他()						
一般財源					0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	火災予防対策	1,035	818	1,035	816	815	△ 3

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,009	1,005	1,005	△ 30	
1,009	1,005	1,005	△ 30	
	0	0		
査定額	説明			
1,005				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値883件、実施714件 非特定防火対象物の重大違反12件中3件是正) 防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催3回、受講91名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講27名) 春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画作成し実施した。(火災予防運動:郵便局車両、タクシー及び人力車協力による火災予防啓発活動2回、対象物合同訓練11件、文化財防火デー訓練4件 危険物安全週間:立入検査188件) 住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:94.1%、個別訪問指導(電話指導含む):428件) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により実施を制限したため、目標値を下回っている。違反是正は3件は正したが、引き続き9件の指導が必要である。 防火管理講習は新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者数を制限した開催を余儀なくされたため、開催回数を2回から3回に変更し受講機会を拡大することができた。 行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した内容に変更し、火災予防意識の普及を図ることができた。 住宅用火災警報器の設置は、特に維持管理の重要性について積極的な啓発を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査、各予防運動及び防火管理講習は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め引き続き充実を図る。 重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値892件、実施854件 非特定防火対象物の重大違反13件中6件是正) 防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講86名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講20名) 春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画を作成し実施した。(火災予防運動:事業所の協力による火災予防啓発活動2回、女性消防団員と協力し火災予防街頭啓発1回、対象物合同訓練10件、文化財防火デー訓練2件 危険物安全週間:立入検査186件) 住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:94.5%、個別訪問指導(電話指導含む):584件) 市立中学校少年消防クラブリーダー研修(職場体験学習)を実施した。(定員30名、参加者21名) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により実施を制限したため、目標値を下回っている。違反是正は6件は正したが、引き続き7件の指導が必要である。 防火管理講習は引き続き感染状況を確認しながら、定員数の拡大が必要である。 行事は感染症拡大防止を考慮した内容に変更し、火災予防意識の普及を図ることができた。 住宅用火災警報器の設置は、特に維持管理の重要性について積極的な啓発を図る必要がある。 少年消防クラブリーダー研修は、感染防止に配慮しながら、定員の半数以上の参加者を得ることができた。更なる積極的な啓発を要する。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査、各予防運動及び防火管理講習は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め引き続き充実を図る。 重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。 	

担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 火災原因調査及び立入査察(違反是正)に対する知識・技術の向上に必要な経費を計上 火災予防の啓発等に必要な経費を計上 少年消防クラブ活動の促進を図るために必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	常備消防費					
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,923	13,967	15,180	14,962	14,836	869
特定財源	国費()						
	県費()		237				△ 237
	その他(白川村受託事業収入)	820	832	770	770	701	△ 131
一般財源		14,103	12,898	14,410	14,192	14,135	1,237
個票枝番	主な事業内容						
	消防車両・装備等維持管理	14,923	13,967	15,180	14,962	14,836	869

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,236	15,540	15,540	360	
1,685	850	850	80	
15,551	14,690	14,690	280	
査定額	説明			
15,540				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベについては、54本の耐圧検査を実施し、必要な空気ボンベ数を確保した。 消防車両17台の車検整備を実施し、安全な車両運行及び火災現場等における確実な防護活動を実施した。 緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災航空隊等との訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費等の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊等との訓練実施により、現場活動の連携強化と現場対応力の強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両を、適正に点検・修繕し、災害時には確実に運用できるよう整備する。 発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、小隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動への確実な対応を図った。 岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 緊急消防援助隊岐阜県大隊として、静岡県熱海市土砂災害に2陣計6名を派遣した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費等の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防車両及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	常備消防費					
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		8,387	8,100	9,883	10,552	10,411	2,311
特定財源	国費 ()						
	県費 (新型コロナ移送費)					2,057	2,057
	その他 (白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	8,387	8,100	9,428	9,428	6,211	△ 1,889
一般財源				455	1,124	2,143	2,143
個票枝番	主な事業内容						
	救急救命の推進等	8,057	7,770	9,553	10,222	10,081	2,311
	気管挿管救命士の育成	330	330	330	330	330	0

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		8,400
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
15,046	12,920	12,920	3,037	
6,781	6,304	6,304	△ 3,124	
8,265	6,616	6,616	6,161	
査定額	説明			
12,590				
330				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を2名養成した。 新処置認定救命士を1名養成した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により新処置養成講習が2回中止となり、計画どおり養成できなかった。 気管挿管認定救命士1名を育成した。 公募による普通救命講習を4回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を162回開催し、計2,272人が救命講習を受講した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により各種講習会の受付を中止していた期間があった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士についても、養成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、新処置認定救命士の養成を継続しながら、気管挿管認定救命士及び指導的立場の救命士を養成する。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を3名養成した。 新処置認定救命士を4名養成した。 気管挿管認定救命士を1名養成した。 公募による普通救命講習を4回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を379回開催し、計2,661人が救命講習を受講した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により各種講習会の受付を中止していた期間があった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。 救命講習を広く市民が受講できるようオンライン講習を含めた開催方法を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新に必要な経費を計上 新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画				消防計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	消防団費						
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の任務が、迅速かつ確に遂行できる体制づくりに努める。 市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ること、市民の安全、安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の任免 報酬、手当等の支給 消防団行事等の企画、運営 消防団員への各種表彰の具申等 消防団施設・資器材等の維持管理 消防団員の入団促進、確保対策の取組み(H29～)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	283,091	218,982	306,552	306,552	255,041	36,059	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(退職報償金、公務災害補償費、ふるさと基金)	70,050	55,597	111,110	111,110	138,628	83,031	
一般財源	213,041	163,385	195,442	195,442	116,413	△ 46,972	
個票枝番	主な事業内容						
	消防団の運営	129,731	110,671	154,932	154,932	149,421	38,750
	消防団入団促進	260	328	320	320	282	△ 46
	消防団員年報酬、出動手当等	139,800	96,690	138,000	138,000	94,093	△ 2,597
	消防団員活動服、安全靴の更新	12,500	10,858	12,500	12,500	11,092	234
	消防団員の自動車運転免許取得への助成	800	435	800	800	153	△ 282

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	281,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
278,122	272,587	272,587	△ 33,965
30,395	81,100	81,100	△ 30,010
247,727	191,487	191,487	△ 3,955
査定額	説明		
123,767			
320			
139,000			
8,700			
800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 消防団員の処遇改善を図り、見直した出動手当と特別報酬を支給した。 フォトコンテスト入選作品による入団促進ポスターを600枚作成し、市内公共施設、事業所等に掲示した。 消防団員の自動車運転免許(準中型及びAT限定解除)取得に係る費用の助成を行った。 消防団員の負担軽減を目的とした消防団行事のあり方の検討を推進した。 消防団員の活動服544着、安全靴446足を更新した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市消防操法大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、ポンプ車取り扱い訓練などについて時間、場所及び内容を工夫して行い有事に備えた。 消防団員自動車運転免許取得費補助金は準中型免許取得3名、AT限定解除2名が活用した。 新基準に適合した活動服や安全靴により、活動中の視認性及び安全性が向上した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善について、継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 消防団員活動服及び安全靴の更新を推進する。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 消防団員の出勤報酬及び特別報酬の上限を国の標準額に拡充し、処遇改善を図った。 フォトコンテストを実施した。(応募37点、入選6点) 消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 消防団員の負担軽減を目的とした消防操法大会のあり方の検討を推進した。 消防団員の活動服544着、安全靴450足を更新した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市消防操法大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止(2年連続)。 各支団において、規模を縮小した訓練など、時間や場所及び内容を工夫して行い有事に備えた。 消防団員自動車運転免許取得費補助金は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響もあり、準中型免許取得1名のみでの活用であった。 新基準に適合した活動服や安全靴により、活動中の視認性及び安全性が向上した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善について継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 消防団員活動服及び安全靴の更新を推進する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 消防団員の入団促進策・確保策に必要な経費を計上 消防団員の処遇改善に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81300 消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画			
			目	3	消防施設費		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		27,925	27,192	13,100	11,750	11,701	△ 15,491
特定財源	国費()						
	県費(森林・林業対策補助金)		3,000				△ 3,000
	その他(過疎対策事業債)	18,300	18,300	5,000	5,000	6,300	△ 12,000
一般財源		9,625	5,892	8,100	6,750	5,401	△ 491
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車庫修繕・撤去等		2,574	4,900	3,400	3,134	560
	消防団車庫改築	27,925	23,958	6,700	6,850	7,357	△ 16,601
	消防署等施設の施設修繕		660	1,500	1,500	1,210	550

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		30,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
12,470	6,900	4,300	△ 8,800	
12,470	5,200	1,700	△ 3,300	
12,470	2,600	△ 5,500		
査定額	説明			
0				
2,300				
1,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・荘川診療所跡地に消防団車庫を新築した。(荘川支団新淵班) ・消防団車庫の1ヶ所の解体を行った。(国府支団西門前班) ・消防団車庫敷地の石垣の修繕を行った。(久々野支団大西班) ・女性職員の職場環境の改善を目的として、消防本部女子更衣室の拡張工事を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づき、用途廃止した消防団施設の有効利用や解体により財産の整理を推進した。 ・経年により変形、落石がみられた団車庫敷地境界にある石垣を修繕したことで、隣地への落石防止等安全性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に進め、消防防災体制の充実、強化を推進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団車庫にトイレ、倉庫の増築工事を行った。(荘川支団黒谷班) ・消防団車庫2ヶ所の解体を行った。(清見支団旧櫛谷班、荘川支団旧新淵班) ・女性職員の職場環境の改善を目的として、高山消防署に女子シャワー室の増設工事を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づき、用途廃止した消防団施設の解体により財産の整理を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団車庫の改築に必要な経費を計上 ・消防署施設の改修に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・消防団車庫の解体時期を見直し
--------------	-----------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81310 消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両(署・団)を適正に配置する。 老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。 	概要	消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	---------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		170,333	170,332	16,500	16,500	16,468	△ 153,864
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(過疎対策事業債)	7,000	7,000	9,000	9,000	7,200	200
一般財源		163,333	163,332	7,500	7,500	9,268	△ 154,064
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車両更新	31,200	32,653	11,500	11,500	11,974	△ 20,679
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新	5,000	4,469	5,000	5,000	4,494	25
	消防署車両更新	134,600	133,210				△ 133,210

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		250,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
293,102	247,500	247,500	231,000	
	19,000	169,000	160,000	
293,102	228,500	78,500	71,000	
査定額	説明			
	※ 消防団車両 2台			
	※ 消防団車両積載資器材一式 1台分			
	※ はしご付き消防自動車1台			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救助工作車1台を更新し高山消防署に配備した。 警防搬送車1台を更新し丹生川出張所に配備した。 消防ポンプ自動車1台を更新し、高山支団(新宮班)に配備した。 小型動力ポンプ付き積載車2台を更新し、清見支団(藤瀬班)と丹生川支団(旗鉾班)に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な消防車両等の更新及び必要な消防車両等の適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 老朽化した車両を更新整備することにより、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な更新整備を基本としながらも、適正な維持管理により延命化を図るとともに、老朽化が著しい場合は更新を前倒すなど現状に応じた対応を図る。 常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。 消防団車両整備計画は、班の再編成等を踏まえ、消防団車庫と共に、計画的かつ効率的に進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 小型動力ポンプ付き普通積載車1台を更新し、久々野支団(引下・小坊班)に配備した。 小型動力ポンプ付き軽積載車1台を更新し、国府支団(桐谷班)に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いや、班の再編成等の状況に応じ調整を図る。 常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> はしご付き消防自動車の更新(高山消防署)に必要な経費を計上 消防団車両の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおり
--------------	-----------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	消防施設費		根拠計画			
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽を整備する。 損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等)による環境改善と水量維持
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R2	R3					
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	37,037	36,773	39,360	41,197	39,500	2,727	
特定財源							
国費(消防防災施設等整備費1/2)	5,486	5,486	5,486	5,486	5,486	0	
県費							
その他(過疎対策事業債)	4,800	4,800	8,000	8,000	5,700	900	
一般財源	26,751	26,487	25,874	27,711	28,314	1,827	
個票枝番	主な事業内容						
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体	19,206	19,190	21,000	20,890	20,660	1,470
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入	4,648	4,642	3,000	3,487	3,487	△ 1,155
	水利施設の維持管理等	13,183	12,941	15,360	16,820	15,353	2,412
	消火栓の予防的更新						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		41,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
50,348	43,990	19,390	△ 19,970	
5,486	5,486			
	13,100	7,000	△ 1,000	
44,862	25,404	12,390	△ 13,484	
査定額	説明			
1,500	防火水槽撤去			
0				
7,890				
10,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽へ2基更新整備を行った。(国府、上宝) 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を3基修繕した。 防火水槽の清掃を1基行った。(土砂除去等による環境改善と水量維持)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽へ2基更新整備を行った。(国府、久々野) 防火水槽の漏水、フェンスの破損を4基修繕した。 防火水槽の清掃を5基行った。(堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・耐震性貯水槽の整備時期を見直し
--------------	------------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	消防施設費					
担当課	消防総務課・警防課・防災課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の更新及び修繕
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	80.2%	84.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		18,255	18,223	17,200	16,713	16,651	△ 1,572
特定財源	国費(消防資器材整備事業費1/3)	1,200	953			1,368	415
	県費		511				△ 511
	その他(コミュニティ助成)					500	500
一般財源		17,055	16,759	17,200	16,713	14,783	△ 1,976
個票枝番	主な事業内容						
	消防資器材の整備	9,155	12,303	7,900	7,900	9,006	△ 3,297
	消防団装備品	9,100	5,920	9,300	8,813	7,645	1,725
	初期消火資器材の新規整備						

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		17,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
28,278	22,300	22,300	5,100	
2,792	3,000	3,000	3,000	
25,486	19,300	19,300	2,100	
査定額	説明			
9,200				
8,100	デジタル簡易無線機等			
5,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣9着を更新整備した。 墜落制止用器具(フルハーネス、胴ベルト、ランヤード)計109個を整備した。 消防団用にデジタル簡易無線機56機を追加整備した。 女性消防団用軽可搬ポンプ一式を整備した。 消防ホース(常備17、団64)81本を更新整備した。 初期消火資器材について、格納箱20基、ホース31本を更新整備した。 救命講習用訓練人形2体、AEDトレーナー1台を更新整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 高所作業安全確保に関する基準改正に伴う必要な資器材の整備により、活動の安全対策が強化された。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。 消防団における資器材や装備品の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による活動の安全を確保する。 消防団員の資器材や装備品を計画的に整備すると共に、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣16着を更新整備した。 消防団用にデジタル簡易無線機55機、救命胴衣55着、夜間照明10式を追加整備した。 消防ホース88本(常備50、団33)を更新整備した。 初期消火資器材について格納箱15基、ホース38本を更新整備した。 救命講習用訓練人形3体、AEDトレーナー2台を更新整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 消防団における資器材や装備品の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 消防団員の安全確保や、負担軽減に配慮した資器材や装備品を計画的に整備すると共に、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上 消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに